

地久節の平で

婦人愛國行進

盛澤山な平町婦人

団体の奉祝プラン

來月六日の地久節には全國で種々な奉祝運動が行はれるので平町愛國婦人會では目下これが奉祝行事を計畫中であるが今年には國母陛下の第三十三回の御誕辰に當らせられるばかりでなく舊冬には第二皇子様が御降誕遊ばされた等誠に意義深き佳辰なので當日は婦人會、女子青年團等とも合同縣社

補償價格の決定で

整理難打開

市街地設定實行委員の後仕末を土木課が引受ける

平町土木委員會は昨十四日行はれたが右は同町南裏道路開墾から土地買収費の整理難を招來した市街地設定實行委員會の後仕末を平町土木課が引受けることになつた爲で同問題を諮問案として協議した結果委員一同が各分部に分れて實收を調査の上土地補償價格を決定して整理する方針に一致した

藤原川改修

縣金成技師測量
藤原川の十年度改修工事は磐崎村大字白鳥地内磐町橋まで、打切つたが同河川は

務委員長物江浩氏、縣會議員蓮沼龍輔氏等である

平町壯丁

昨年より増加

今後益々累増
平町では一月現在で調査した十一年度壯丁名簿を近く縣社會兵事課に發送するがそれに依ると平町の壯丁は

大平市の前奏

新規事業費

十六萬計上

月末豫算町會招集

平町の十一年度豫算は警備費を残し全部編成を終へたので選舉終了を待つて直ちに町長の査定を行ひ二月末日頃豫算町會を招集する豫定であるが明年度豫算は市制施行を控へ市の對面を保つ爲他年の懸念であつた公會堂建築費八萬圓を初め第四小學校敷地買収費並にこれに埋立費等約八萬圓計十六萬圓の新規事業費が計上されてゐるので如何に財政の整理縮小しても四十四五萬圓の多額に上り前年當初豫算三十二萬圓に比較すると十三萬圓の増額を來し市制を前に早くも大平市に相應はしい大豫算となつた

平第二校の圖書競技會

中西警女教諭審査

平第二小學校は今十五日午前十時より同校講堂で尋常以下各級二十名の圖書の上手な児童を選び圖書コンクールを催し中西警女教諭が審査採点すると

春繭出荷打合

平蠶業取締所では昨十三日郡下の養蠶出荷特約組合代表者を招き春繭の共同出荷に就いて協議した

石炭試掘許可

神奈川縣鎌倉町敷江讓治氏出願の神谷半窪兩村地下の六十八萬五千坪並びに埼玉縣北足立郡浦和町星野新助氏出願の川部、山田、田人三村に跨る二十三萬四千坪の石炭試掘願は今十五日附許可された

殿の敬稱付

公衆の立場から改正

呼び捨の電報に
從來電報の宛名は何の誰といふ氏名の書捨ての儘で送達され敬稱を一切省略する取扱となつてゐた此は少しでも電信の迅速を期したいとの建前から來たものであるしかし公衆の立場からいへば電報の氏名の呼び捨てによつて又自分からの電信が呼び捨ての形で先方に配達せられるといふ事はお互

驛委員會延期

既報
七日の平驛事故防止委員會は都合により十九日に延

期された

會川町議母堂

平町久保町平町議會會川延太郎氏母堂ヨシ刀自は永らく藥石に親しんでゐたが昨十四日午前二時逝去された尚葬儀は明十六日午後二時自宅出棺大寶寺で執行される

平蠶業紹介所報告

回 人を求める方
△印刷工 廿六才 高卒
△鐵工 廿三才 高卒
△電氣職工 卅三才 高卒

喜多流謠曲と仕舞の稽古をお奨め致します

平町田町六九
喜多流 謠曲 仕舞 白土會
入會隨時 電話一二七番

玉屋洋品店
平町田町通電話六五六番

外科科一般
金成醫院
金成 忠
平鎌田町(電三五八)

見知らぬ他人に 情の就職斡旋

月給氏が恵む街の美談

昨十四日午後六時頃平署内勤吉田巡査が選挙演説會取締りの歸途湯本驛に差しかけた際、待合室でみすぼらしい老人が物思ひにふけて時折涙して居るのを不審に思つて事情を聴くと、同人は双葉郡大久村字竹尻生れの内山吉松(五七)で若い頃青雲の志をいだへて上京一旗擧げんとしたが失敗南會津の田島町で炭焼をして居るうち最近の大雪で商賣にならず故郷戀しく徒歩で

益々増加する 中等學校志願者

平町各小學校の志望調

平町各小學校の今年度中等學校入學志願者は今十五日現在で合計三百二十五名あり志望別左の如くであるが昨年と比較すれば平第一、二兩校が各二十餘名宛増加し第三校は學級の關係で昨年より二名増で縣立校の授業料値上げに拘らず毎年増加し依然として入學難を豫想させてゐる

- △平第一校 磐中九十二名 平商七十一名
- △平第二校 磐女百三十名
- △平第三校 磐中十三名 平商三名 磐女十六名

徳永新井兩君 スキー大會

耐久レース出場

平營林署内徳永新井兩君は十五、六兩日岩代熱海で目下開催中のスキー大會に三〇四〇キロの耐久レース兩種目に出場活躍中

酌婦を強奪

脅された地主訴る

内郷村大字宮料理業藤沼マツノ方で昨年十二月前借三〇圓で雇入れた千葉市寒川八十吉長女楠田キチ(三〇)の處へ去る四日八十吉から父危篤の電報あり地主のムツノがキチと兩名でキチの郷里に行つた處八十吉はビンノとして居り電報は偽電と判つた擧句八十吉は地主を脅かしキチを返さぬ爲止むなくマツノは一人で歸つて來て平署に八十吉を詐欺罪で訴へた

稀な高齢者 ツル女逝く

縣下最高齢者として全國にも稀な勿來町大字關田宇南町山名ツル媼は風邪の氣味で臥床中だったが十四日午前十一時眠るが如く大往生した

因にツル媼は文政十一年生れの白九才で四五年前までは畑に出て野良仕事をした程で最近老衰して來てゐたのであつたが稀に見る高齢者として珍らしくその健康法は注目

各地婦人團體が 夫々肅正強調

巷に見る選挙風景

平町は本十五日の婦人肅正強調デーに當り愛國婦人會、國防婦人會、女子青年團、婦人會の四婦人團體を動員して縣社子鐵倉神社で前夜祈願祭執行後講演會座談會を開催した

棄權防止

平町各小學校が選挙に當り街頭行進はじめ種々の催しにより一般の注

明日のラジオ

十六日

今夜は晴明日も同様

今晚の部

- 後六、〇〇 童話劇「夢の小函」仙臺テアトルシユ
- 後六、二五 農家の時間「庭木の植ゑ方」本郷高徳
- 後七、三〇 ラヂオドラマ「大般涅槃の日」友田恭助
- 後八、一〇 佛教音楽 佛

明日の部

- 前九、一〇 榮養料理献立
- 後八、二〇 管絃樂「ブルツタナーの第九交響曲」東京音楽學校管絃樂部
- 「日比谷公會堂中継」
- 後九、〇〇 時事解説
- 後九、三〇 時報ニュース
- 明日の話題 氣象通報
- 番組豫告

試験地獄

平町各小學校が選挙に當り街頭行進はじめ種々の催しにより一般の注

肅正大風

平町各小學校が選挙に當り街頭行進はじめ種々の催しにより一般の注

ボツクスで假睡中

十圓札消える

結局平署が裁く

昨日十四日夜十一時頃内郷村大字高坂磐城炭礦坑夫草野金四郎(三三)は平町南町カフエーナナ方で飲酒代金支拂に十圓札を出した處ツリが無いと云ふので小銭で拂つた末ボツクスでひと眠りして目覺めて見ると十圓札が無く「返した」「貰はぬ」で争論になり平署で取調べ中

傷害致死公判

格闘の際の現場の位置を除き大體に於て豫審の陳述を認め、結審に至らず辯護士より實地檢證の申請あり、近く中島判事一行實地檢證の上第二回公判開廷の筈

上田病院

平町 南町 電話二一九番

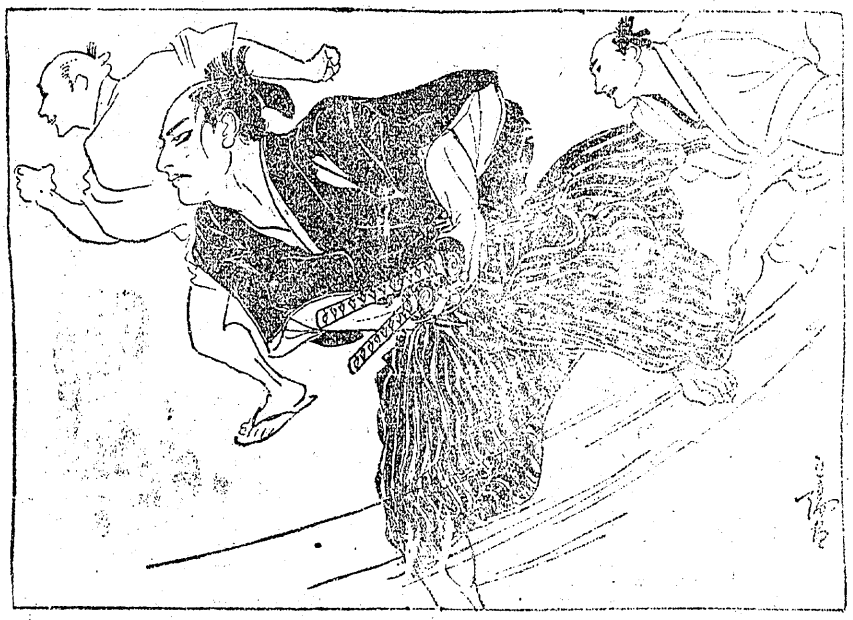
繞る瓦解の謎

(著上 丸尾至陽)

悟道軒圓玉(作)
尾至陽(書)



四八、柱小五郎
内田萬之助は一刀をつかみ差しにして愛宕下の藪小路を出で坂下門をさして飛ぶが如く走つた。
○「大變だ、こんなことがあるだろうと思つたがとうとう、初つた。」
△「今度は掃部様が殺されたほどの人数ではなかつたが、なにしろこんな度にやあると、役人の種がつきませ。」
といふを聞いて萬之助がつかつかとその人のところへ進みより
萬「おたづね申す、しばらくお待ちください。」
○「何だね。」
萬「大分人が駆て參るが出でもございませうか。」
○「火事ならば水をかければ消えるが、これは火事より大きな出来事だ。」
萬「たいたいあなた申されたには役人の種がつきるなどと申されたが、何か出来いたしましたか。」
○「坂下門と御老中の安藤様がやられましたよ。」
萬「エッ安藤閣下が。」
さつと顔色が變つた、それを見て
○「お前さんは安藤さんの



八人揃つて斬り込んださうでございます。」
萬「して安藤公は如何なさいました。」
○「ウム、殺されたといふ若もあるし怪我をして坂下門に逃げ込んだといふ人もある、しかとは判りませんが浪人者は殺されたさうでございます。」
萬「左様か、さては同志のものに討たれたか。」
○「何だか知らねえが安藤様の家來が強かつたさうでこれは掃部様が殺されて以來再びこんなことのねえやえが、狼のやうな無法な人

おそのの病氣のためにこの義舉におくれしは——一家の私事によつて武士道にそむきしは返す返すも残念至極。」
と、しばらくそれになつづみ悄然として居つたが、やがてこゝをばなれて丸ノ内に入り、それとなく様子を見ざるに安藤閣老は傷を負うて坂下門内に逃げ込んだが、應急の手當を受けて屋敷に戻つたのと、また襲撃した浪士は現場にて大半討たれたが、その内には逃れた者もありそれを嚴重に捜索いたし居るとのこと、見付たものは門を打つて出入りのものをあらためてゐる、内田萬之助はこの爲何としたものかと大いに心を苦しめた。
話變つてこゝは日比谷の毛利侯の屋敷、こゝに設けある有備館にて剣道の教授をいたし居るものは桂小五郎、後の木戸孝允公、この頃は志士の内にその名を知られ、長洲には桂小五郎がゐるといふこといふことは

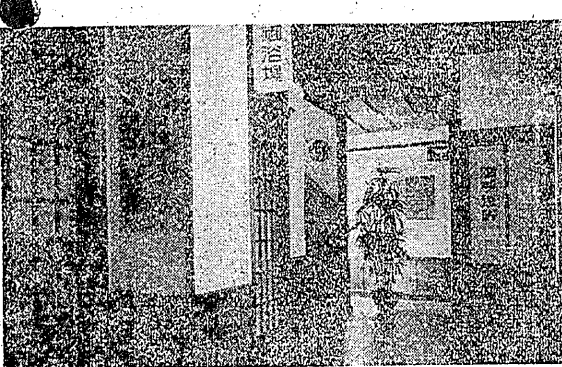
誰でも知つてゐる、この日屋敷に居ると午後二時頃のこと、玄關にあつて案内をこころがある、勇藏といふ家來が出て見ると、年頃廿四五になる色白のまこと上品なふうさをして居る人物、黒つむぎの衣類にかば色木綿の制羽織を着て茶萬筋の小倉の野袴をはき、蠟色鞆の大小をさしてゐる。
○「桂小郎どのお住居は御當家か。」
勇「左様にございませう。」

店主が店員を連れて行く
か 食 堂
正 シ イ 喫 茶
正 シ イ 酒 場
平・田 町
ラレストサロン
電三五二番

問たな、坂下御門を入れれば公方様のお在りなさるところだ、それをお前さん大膽な奴あるものであんなところにて待つてゐて斬りつけるとは珍しい奴らだ、わつちは見たわけではないが、七

男女工見習
右至急募集す
希望者來談あれ
常磐毎日印刷會社
長橋町 電話六三〇

○「小五郎殿に御面會の上お願ひ申す一儀あつて推參いたした、自分ことは江戸の浪人内田萬之助と申すものでござる。」
勇「左様にございませうかし、しばらくお待ちください。」
奥に來てこの事を告げた



小瀧へ!!

◇宿泊料	1.50 2.00 2.50	(御滞在は左記料金にて中食料をふくませます)
◇日歸浴席料	.20	
◇自炊料	.50-.80	入場料・室料 夜具料一切
◇料理一定食	.80 1.00 1.50	(その他一品料理洋食)

効 神 疾 婦 痛 逆 上 中 風 肥 胖 病
病 疾 婦 痛 逆 上 中 風 肥 胖 病
(内務省東京衛生試験所検定済)

◇諸 設 備 撞 球 臺 高 級 ラ デ オ 大 廣 間
讀 書 室 近 代 式 浴 場 洗 衣 所 水 部
洗 式 便 所 小 動 物 園 タ ク シ ー
御 子 様 運 動 器 具

◇名 物 川 魚 料 理 (うなぎ 鯉 蜂 密 羊 かん)

● 女 中 數 名 入 用 ●

常 磐 線 湯 本 驛 小 瀧 礦 泉
御 旅 館 瀧 の 湯
御 自 炊
電 話 (小 名 濱) 103 番

ほねびん

桑原柔道整骨院
平野園下電話六六四

磐城セメント會社特約店
磐城平町五丁目 電話九・九九番

□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷はの生命なり

一 齒 科 一 般
工 科 齒 列 矯 正 科
一 口 腔 外 科

保存科補綴科 繼續架
小兒齒科 齒槽膿漏科
一 レントゲン科

中野齒科醫院
院長 日本齒科 醫學士 中野 惠次
日本齒科 醫學士 西 川 誠
平町出町(松月堂向ヒ)
電話 五〇九番